

海事資料 FAX 短信

(財)日本海事広報協会

・海事情報部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail jo-ho@kaijipr.or.jp

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が最近発行した機関誌や海事関係資料の主な項目、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

海のイベント情報等

・「商船模型同好会作品展」開催のご案内

主催：商船模型同好会

商船模型同好会では、船の科学館において、精密に作られた商船模型の展示や、模型の製法などの資料公開及び実演を実施いたします。また、日本郵船創立125周年記念特別展示「われらがつくった日本郵船の船たち」を開催いたします。作品展の詳細は以下のとおりです。(入場無料)

【開催日時】 11月13日(土) 13時～17時

11月14日(日) 10時～16時

【開催場所】：船の科学館(東京都品川区東八潮3番1号)本館1階 オーロラホール

【主催】：商船模型同好会

【共催】：(財)日本海事科学振興財団(船の科学館)

【後援】：(財)日本海事広報協会

【お問合せ】：展示内容：047-459-0379(作品展実行委員 三宅さん)

展示会場：03-5500-1113(船の科学館 学芸課)

★船の科学館では、企画展「海洋船舶画の世界～全館丸ごと美術館計画」を開催しています。(こちらの企画展は船の科学館の入館料が必要です。)

【期間】：10月10日(日)～12月19日(日)

【場所】：船の科学館 本館3階展示場「マリタイムサルーン」をメイン会場に、
「船の科学館」全館

【内容】：「海洋船舶画」を中心に総数100点を越える作品を館内いっばいに展示した
「船上美術館」とする企画展

【問合せ】：03-5500-1113(船の科学館 学芸課)

機 関 誌 ・ 広 報 誌 等

<p>「港湾」10月号 〈特集〉国際コンテナ戦略港湾</p> <p>日本港湾協会 03-5549-9575</p>	<p>「KAIUN」10月号 「船内で発生する機関故障について」</p> <p>日本海運集会所 03-5802-8365</p>
<p>「共有船」10月号 青函航路にカジュアルクルーズ志向の 「ブルードルフィン」登場</p> <p>船舶整備共有船主協会 03-3262-8336</p>	<p>「海洋」10月号 明治丸海事ミュージアム事業募金中間 報告</p> <p>海洋会 03-3262-8632</p>
<p>「えちか」vol.27 鉄道車両を輸送する最新鋭の重量物船 隊</p> <p>商船三井 03-3587-6286</p>	<p>「K”LINE NEWS」10月号 世界初 長期における水エマルジョン 燃料実船試験について</p> <p>川崎汽船 03-3595-5063</p>

日本海事広報協会の
旬刊紙「海上の友」

10月21日号の主な記事

- ◆海賊対策国際フォーラム（海洋政策研究財団・海保庁）海賊対策 沿岸国の現状
- ◆即戦力をめざして!!（外航日本人船員（海技者）確保・育成スキーム）
- ◆海上新入社員へ（日本郵船 工藤社長）安全と環境が重要なファクター

◆IMOに署名を提出（海員組合）

◆船舶のCO₂削減へ（IMO）
段階的に強化を

◆副大臣が練習船を視察（国交省）

ほか

「海上の友」購読料
年間10,323円
1ヶ月860円（税・送料込）

日本海事広報協会の

隔月刊誌「LA MER」

11月／12月号の主な記事

- ◆〈特集〉咸臨丸太平洋横断150年
・咸臨丸の汽走時帆走時と内部の精密図／咸臨丸の航跡をたどった海王丸／咸臨丸、荒波の太平洋を往く／幕末軍艦の系譜 他
- ◆横須賀でご当地クルーズ「産業観光便」を運航
- ◆伊勢湾フェリー運航継続
- ◆交流船で国後島・択捉島訪問
- ◆太平洋フェリー新「いしかり」が進水！

◆連載

- ・海の仕事人
- ・シリーズ内航船「日海丸」
- ・海族の系譜 倭寇その1 山田吉彦
- ・「海の不思議」を追って 土井全二郎
- ・キャプテン佐久間のおもしろ海話 佐久間誉
- ・名船発掘「小菅丸」「ドミニオン・マーク」 他

「LA MER」 定価700円（税込）
・ご購読申込は、全国有名書店
又は弊協会まで。
・定期購読も承ります。